

北陸地域農林水産物等輸出促進連絡協議会ミニ勉強会の概要

平成19年11月14日、農産物の輸出に関心のある方ら33名を対象に、新潟市ホテルオークラ新潟において、日本でユーレップGAPの認証を受けられた片山寿伸氏（現農業生産法人片山りんご株式会社執行役）を講師に招き「国際的なGAPの取組について」と題しミニ勉強会を開催しました。

○ 講演概要

平成9年はりんごが不作で、原価が出なかったため海外へ目を向けることを考え、スペインの知人にサンプル1箱を送り、各商社で交渉してもらった際、エンパイア・ワールド・トレード社が興味を持ち、自費で片山りんご園まで視察に来所。その際に商談が成立したが、貿易の条件として提示されたのが、ユーレップGAPの取得でした。

ユーレップGAPは15年の初審査は不合格でしたが、それ以降は毎年合格し、認証を得ています。

日本でも日本の農業生産現場に適した日本独自の「適正農業規範(GAP)」の導入が必要と考えるに至りました。GAPそのものは、「農家が農場内で守る決まり」であり、今後否応なしに対決を迫られるであろう外国産農産物との生き残りをかけた競争現場で保有しておく最低限の装備です。「攻めの農業」の実践にはGAPを利用し、「守りながら攻める」ことが、現実的な戦略。と講演されました。

